

2020年6月30日

## ICFO 総会について（報告）

非営利組織評価センター  
猪俣

ICFO は International Committee on Fundraising Organizations（ファンドレイジング組織に関する国際委員会）の略称で、全世界 20 ヶ国の NGO・NPO の認証組織が加盟する際組織である。ICFO は欧州評議会において諮問として登録されており、世界各国の認証組織が情報交換を行う場となっている。非営利組織評価センターは、日本唯一の認証機関として、加盟している。前理事長マルチナ・ジーグラール氏は 2016 年 9 月に日本を訪れ、非営利組織評価センター主催の「米国非営利セクターの近況と NPO 評価手法に関するワークショップ」にゲスト登壇している。

### 1. ICFO 会議スケジュール

事前トライアル 2020 年 5 月 28 日（木）14:00～14:30（日本時間 21:00～21:30）

1 日目 2020 年 6 月 4 日（木）14:00～17:00（日本時間 21:00～24:00）

2 日目 2020 年 6 月 5 日（金）14:00～17:30（日本時間 21:00～24:30）

ウィーンで開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症パンデミックにより、オンライン会議システム zoom にて開催された。

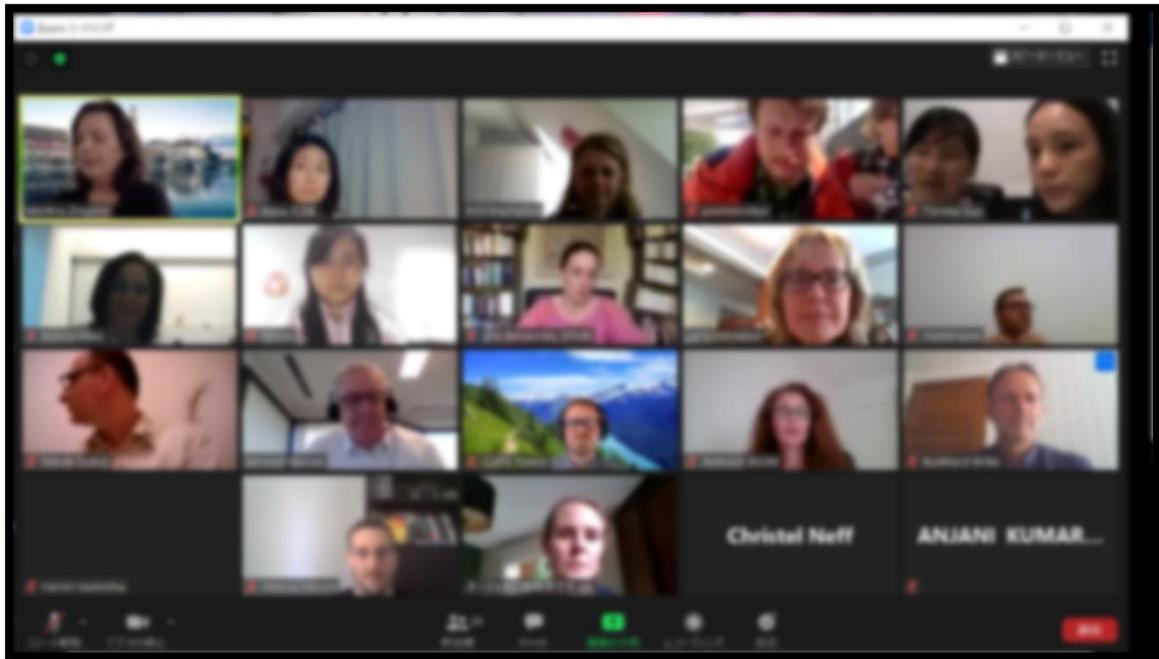
### 2. 参加国

ICFO 正会員 12 国

イタリア、スウェーデン、アメリカ、カナダ、フランス、スペイン、台湾、ドイツ、メキシコ、オランダ、ノルウェー、スイス、中国（欠席）

ICFO 準会員 7 国

インド、日本、オーストリア、ブラジル、チェコ、ルクセンブルグ、ウクライナ  
19 か国総勢 25 名程参加があった。



### 3. アジェンダ

<b>時間</b>	<b>1日目 アジェンダ</b>
14:00	1. 開会
14:10	2. アジェンダの承認 a) 2019年AGM プラハ議事録の承認 b) 2019年ICFO アニュアルレポートの承認 c) 2019年財務諸表の承認 d) 2019年取締役会決定の承認
14:20	3. 新型コロナの影響について情報交換
14:50	4. 国別報告書と特徴
15:10	5. グループディスカッション（ブレイクアウトセッション） トピック：どうやって認証機関の認知度をあげるか？ 非営利団体が認証マークに興味を持つ方法は？ How to make charity monitoring known and how to make NGO interested by our seals 6. プレゼンテーション
<b>時間</b>	<b>2日目 アジェンダ</b>
14:00	7. 前回AGMからの持越し案件：メンバーシップ基準の確認
14:10	8. 2021年会費

14:20	9. 2021 年予算
14:30	10. グループディスカッション（ブレイクアウトセッション） トピック：非営利セクターの注目すべきトレンドは何か？ Topic: What are the notable trends in the NGO sector in your country. 11. プレゼンテーション
16:20	12. E-ラーニングプログラムについて
16:30	13. 理事会から今後の見通し
16:40	14. 2021 年 6 月 ICFO AGM ウィーン
16:45	15. 2022 年 5 月 ICFO AGM バンクーバー
16:50	16. 理事の選任
17:00	閉会

#### 4. 概要

毎年、加盟国の持ち回りで開催している ICFO の年次総会だが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催に変更された。総会の前週にトライアルがあり、総会は 6 月 4 日（木）と 5 日（金）に各 3 時間で実施された。欠席の加盟国もあったが出席者は多く、活発な議論が交わされた。メインの話題としては、やはり新型コロナの影響は大きく、各国の状況として Stay Home が基本で在宅勤務していること、医療のひっ迫、政府からの支援不足、事業活動の制約、職員を解雇せざるを得ないなど、どこも大変な状況であることが報告された。

各国の認証機関の状況として、新型コロナに対応するための支援として、寄付やクラウドファンディングも増え、前年比で世界的に認証付与団体は増加している傾向もある。また、Care や Plan International など、世界的に各国で認証されている NGO がある一方、どこの国でも認証を得ていない著名 NGO もあることなどが傾向としてあげられた。

グループディスカッションは 2 回設けられ、数か国でグループごとに活発な議論がかわされた。1 日目は、認証機関の認知度向上や認証マーク普及の方法について、2 日目は非営利セクターのトレンドについて、ディスカッションが行われた。認証機関は各国、寄付者の集い、公告や SNS の活用、イベント開催など様々な方法を複数実施していることが特徴としてあった。また、認証付与団体が自ら「なぜ認証が重要か、役にたつか」を支援者・寄付者に語ることの重要性がトピックとしてあげられた。日本が初期ステージにあることにつ

いては、「有名な非営利団体に声かけをし、そのネットワークにも声かけて大きくしていくべき。著名な団体がとっていけば、訴求力となり取得を目指す団体が増える。」などのアドバイスがあり、カナダの CCCC はそのようにして拡大していったことなどがシェアされた。最近の世界各国の寄付の傾向としては、クラウドファンディングが若い世代で広まっていることは変わらず、特に災害や新型コロナウイルスパンデミックのような緊急性がある場合、多くの団体がクラウドファンディングを活用していることなどが話題にあがった。一方、若い世代は寄付をするより、ボランティアを選択する傾向はどこの国でもあることとして共有された。

その他、2019 年の事業報告及び財務諸表が正会員で審議決定された。理事会からは今後の見通しや役員改選について報告があった。また、準会員から正会員になるためには、ICFO プリンシプルに準拠することが条件であり、理事会に申請する必要があることなどが説明された。今回は役員改選が実施され、2012 年から代表を歴任した Martina 氏が退任し、次の代表はフランスの Ana Benavides が就任した。他、役員の改選が行われ新体制となった。

以上